

令和8年 第1回定例会 代表質問



質問者

たか はし
高橋

はじめ
肇議員

○令和8年度予算編成及び予算について

質問 過去最大規模となった令和8年度予算について複合施設整備事業が主な要因であるが、市民生活の質をどう向上させる予算と位置づけているのか伺う。

答弁 市民生活に欠かせない様々な事業、福祉の関係、子育て支援という部分についてはこれまで同様の予算を編成した。複合施設整備に重点を置いたことで、新規事業の頭出しができなかったということは否めないが市民生活に直結した部分については今まであったものを減ず

○令和8年度予算編成及び予算について
○道の駅リニールコンセプトについて
○湯沢市過疎地域持続的発展計画について
○令和8年度教育行政方針について



るというようなことはない。

質問 予算編成に当たり、各施策や事務事業の棚卸を行い、どのような見直しや改善が図られたのか伺う。

答弁 前例踏襲にとらわれず、ゼロベースで検討する姿勢で臨んでおり、一例として消防団員の確保と士気向上を図るため、団員の年額報酬を改定、地域の課題解決を後押しすることを目的とした地域づくり事業交付金制度の見直し、庁内事務の生産性向上を図るための生成AIソフトの導入等が挙げられる。今後棚卸を行い効率化につなげ

ていきたい。

質問 空き店舗を活用した企業誘致は新しい手法として本市の実情に合った斬新な取組であり有益と考えるが見解を伺う。

答弁 中心商店街への人流を図る観点からも空き店舗活用は有益と捉えており、誘致認定した企業が空き店舗を活用してオフィスを開設し地元人材5人を採用するなど本市の実情にあった取り組みであると捉えている。

質問 国民健康保険税における子ども・子育て支援納付金について、物価高騰対策の面から新たな負担増とならないよう配慮すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 物価高騰が続く中で被保険者の負担に配慮することは大変重要と認識しており、税率の検討に当たり全体として市民の大きな負担増とならないよう十分配慮し、国民健康保険税全体

の負担のあり方を総合的に見直したいと考えている。

○道の駅リニールコンセプトについて

質問 道の駅おがち周辺整備事業について、どのような位置づけで進めていくのか伺う。

答弁 本市で最も誘客数の多い観光施設であるとともに、地域振興を推進する起点としての機能も求められており、市としても、道の駅おがち周辺整備事業を重点施策と位置づけ、道の駅周辺の一体的なりニールに取り組んでいく。

質問 「道の駅」第3ステージに向け、地域との目標共有のための体制構築について伺う。

答弁 市民の利用や各種団体による活用の拡大等、まち全体の地域振興に資するため、国土交通省をはじめ、市と指定管理者が一体となつて、目的を共有しながら地方創生・観光を加速する拠点となるよう取り組む。

質問 「何度も行きたくなる道の駅」には誘客の目玉となるも